

事業所名

多機能型事業所 りんどう

## 支援プログラム

作成日

R7 年

3 月

21 日

法人（事業所）理念		一人ひとりの子どもの「できること、得意なこと」を伸ばすために、子どもたちに寄り添いながら支援し、挑戦できる場所となる。						
支援方針		学習支援を中心として療育を行い、発達に課題やかたよりがあつたりするために、学習につまずく可能性のある子どもたちへの支援を行う。						
営業時間		9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活動作及び手段的日常生活動作の獲得</li> <li>・健康的な生活リズムを身に着けるサポート（維持・改善） 睡眠、食事、排泄・定期的な心身の把握（観察・面談、個別活動）</li> <li>・身だしなみの整え方</li> <li>・危機認知スキルの向上（映像・SST）</li> <li>・食育（おやつ作り）</li> </ul>						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚の特性への対応（特性に応じた感覚の導入、触覚・固有覚・前庭覚を特に意識した運動や制作） リズム遊び、感覚教材、季節の制作、いろんな道具の使い方等</li> <li>・姿勢や運動、ヒジヨントレーニング、コーディネーショントレーニング等</li> </ul>						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団での活動や遊びのなかで、適切な行動を習得する（認知の偏りに配慮する）</li> <li>・こだわりや偏食に対応する・空間、時間、数の概念など認知発達を促す環境設定（スケジュールや時間の視覚化）</li> </ul>						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や場面に合った言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得・読み・書きに対する学習支援</li> <li>・コミュニケーション手段の活用（SST・発表する機会の提供・ロールプレイ）</li> </ul>						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団・集団での遊びやゲームを通して人との関わり方や接し方を学ぶ</li> <li>・社会体験や地域交流の場を設ける・自己理解、他者理解への支援（SST・社会体験・個別療育）</li> </ul>						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導後のフィードバックや保護者面談</li> <li>・お子さまとの関わり、兄弟に関すること等の様々な不安や困りに寄り添い、相談や助言を行う</li> </ul>			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な移行先との調整、相談援助、連携</li> <li>・学童クラブ等との交流、地域交流の機会を提供することで、集団への参加・適応する力を養う</li> </ul>	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携</li> <li>・学校や併用利用先との情報共有</li> </ul>			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施</li> <li>・職員の各種勉強会や研修への参加</li> </ul>	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の行事（ハロウィン・クリスマス等）</li> <li>・季節の制作、制作や体験、レクレーションの実施</li> <li>・長期休暇中のお買い物学習</li> </ul>						